



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 三愛オブリ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8097 URL <https://www.san-ai-obbli.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 隼田 洋
 問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員経理部長（氏名） 佐藤 孝志 TEL 03-6880-3100
 半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|-------------|---------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期中間期 | 308,364 | 0.4 | 3,784 | △31.6 | 4,310 | △28.8 | 2,828 | △37.0 |
| 2025年3月期中間期 | 307,152 | △3.4 | 5,532 | △36.2 | 6,055 | △33.6 | 4,488 | △20.4 |

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,230百万円（△18.2%） 2025年3月期中間期 3,948百万円（△48.5%）

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年3月期中間期 | 45.38 | — |
| 2025年3月期中間期 | 70.20 | — |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年3月期中間期 | 195,907 | 119,931 | 58.0 |
| 2025年3月期 | 207,110 | 120,023 | 54.8 |

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 113,653百万円 2025年3月期 113,537百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期 | — | 50.00 | — | 50.00 | 100.00 |
| 2026年3月期 | — | 50.00 | — | — | — |
| 2026年3月期（予想） | — | — | — | 50.00 | 100.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 660,000 | 0.9 | 13,000 | 10.1 | 14,000 | 8.9 | 9,100 | 5.1 | 146.02 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年3月期中間期 | 66,000,000株 | 2025年3月期 | 66,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年3月期中間期 | 3,671,291株 | 2025年3月期 | 3,678,353株 |
| ③ 期中平均株式数（中間期） | 2026年3月期中間期 | 62,325,170株 | 2025年3月期中間期 | 63,943,890株 |

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明会資料の掲載先 URL: <https://www.san-ai-obbli.com/ir/result/>

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当中間期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当中間期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 7 |
| (中間連結損益計算書) | 7 |
| (中間連結包括利益計算書) | 8 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等の注記) | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ景気は緩やかに回復した。一方で、物価上昇が続いており、消費者マインドの冷え込みが懸念される。

当社グループを取り巻く事業環境においては、訪日外国人数が各月で過去最高を記録するなど航空燃料の需要は昨年に引き続き堅調に推移した。自動車用燃料油では、中東情勢の緊迫や政府の燃料油価格定額引下げ措置の開始に加えて、ガソリン税および軽油税の暫定税率廃止の観測などにより、市場価格は不安定に推移した。

こうしたなか、当社グループは、中期経営計画「変貌する未来への挑戦 Challenge2030」の第2ステージとして、2030年度に目指す姿に向けてDXによる既存事業の効率化と成長投資を推進した。

当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、前年同期比0.4%増の3,083億64百万円となった。営業利益は、国内石油製品の市況の影響によって連結子会社であるキグナス石油株式会社の一部取引において、仕入と販売の価格形成にゆがみが生じ、収益性が急激に悪化したことから前年同期比31.6%減の37億84百万円、経常利益は前年同期比28.8%減の43億10百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比37.0%減の28億28百万円となった。

セグメント別の状況は以下のとおりである。

① 石油関連事業

石油関連事業においては、石油製品の販売数量は前年同期並みで推移した。各部門の状況は以下のとおりである。

石油小売部門では、直営SSにおける販売数量は前年同期並みに推移したものの、利幅の縮小により利益は前年同期を下回った。石油卸売部門では、キグナス石油株式会社の一部取引において、燃料油に対する補助金の再開やガソリン税および軽油税の暫定税率廃止の観測などによって石油製品に先安感が生じたことで市場価格が下落し、同社の収益性が急激に悪化した。これにより利益は前年同期を大きく下回った。産業用燃料油販売部門では、販売数量、利益ともに前年同期並みで推移した。産業用潤滑油販売部門では、発電用ガスエンジンのメンテナンスや風力発電の内視鏡検査などの受注が前年同期を下回ったものの、販売費及び一般管理費が減少したことから利益は前年同期を上回った。

以上の結果、石油関連事業における売上高は前年同期比0.2%増の2,643億97百万円、セグメント利益は前年同期比79.9%減の8億59百万円となった。

② 化学品関連事業

化学品関連事業においては、各商品ともに販売数量は概ね前年同期並みで推移した一方で、サプライチェーンの最適化によって利益率に改善がみられた。商品別の状況は以下のとおりである。

自動車関連商品では、自社製品である洗車薬剤の販売数量は前年同期並みで推移した一方で、利益率の回復により利益は前年同期を上回った。防腐・防かび剤では、販売数量、利益ともに前年同期を上回った。石油系溶剤では、利益率の回復により利益は前年同期を上回った。粘着付与剤では、販売数量、利益とも前年同期並みで推移した。その他では、機能化学品として高級アルコール他の販売は低調に推移した。

以上の結果、化学品関連事業における売上高は前年同期比0.9%減の62億54百万円、セグメント利益は前年同期比16.1%増の5億99百万円となった。

③ ガス関連事業

<LPガス販売業>

LPガス販売業においては、夏場の猛暑などにより需要が概ね減少傾向となり、販売数量は前年同期を下回った。各部門の状況は以下のとおりである。

小売部門では、家庭用を中心に単位消費量の減少がみられたものの、営業権買収による顧客軒数の増加により利益は前年同期を上回った。卸売部門では、販売数量の減少により利益は前年同期を下回った。

<天然ガス販売業>

天然ガス販売業においては、家庭用では単位消費量の減少がみられたものの、伊万里ガス株式会社のグループ加入により、販売数量は前年同期を上回った。業務用・工業用では夏場の猛暑などにより一部取引先において需要が増加したことから、販売数量は前年同期をやや上回った。これにより、天然ガス販売業全体では、販売数量、利益とも前年同期を上回った。

以上の結果、ガス関連事業における売上高は、LPガス販売数量減少により前年同期比4.1%減の260億88百万円となった。セグメント利益は前年同期比97.2%増の7億37百万円となった。

④ 航空関連事業

航空関連事業においては、訪日外国人の増加などにより航空需要は好調に推移した。羽田空港における燃料取扱数量は、国内線は夏の旅行需要などの回復により好調に推移した。国際線ではインバウンド需要に伴う新規就航や増便により好調に推移した。これにより、国内線と国際線を合わせた燃料取扱数量は前年同期比で約5%の増加となった。

また、大阪・関西万博の会場近隣にあたる関西国際空港や神戸空港をはじめとした羽田空港を除く他空港における給油事業についても、航空需要の堅調な伸びに支えられ業績は好調に推移した。

以上の結果、航空関連事業における売上高は前年同期比17.2%増の84億38百万円、セグメント利益は前年同期比63.4%増の29億12百万円となった。

⑤ その他事業

その他事業においては、金属製品等の洗浄・表面処理業では、大口取引先からの受注が増加したことにより売上高、利益とも前年同期を上回った。また建設工事業では、設備関係の受注が堅調であったことから売上高、利益ともに前年同期を上回った。

以上の結果、その他事業における売上高は、建設工事業が堅調に推移したことにより前年同期比18.1%増の31億84百万円となった。セグメント利益は前年同期比19.0%増の3億88百万円となった。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債、純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ112億2百万円減少し、1,959億7百万円となった。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものである。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ111億10百万円減少し、759億76百万円となった。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したことによるものである。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少し、1,199億31百万円となった。これは主に、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものである。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.8%から58.0%となった。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ52億88百万円減少し350億円となった。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりである。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は79億15百万円となった。これは主に、営業保証金の回収および税金等調整前中間純利益の計上によるものである。なお、前年同期は97億円の資金の使用であった。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は92億87百万円となった。これは主に、定期預金の預入によるものである。なお、使用した資金は前年同期比73億21百万円増加している。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は39億16百万円となった。これは主に、配当金の支払いによるものである。なお、使用した資金は前年同期比18億45百万円減少している。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年5月13日に公表した数値を修正していない。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2025年9月30日) |
|----------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 40,599 | 41,306 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 44,624 | 37,485 |
| 有価証券 | 50 | — |
| 商品及び製品 | 10,007 | 8,717 |
| 仕掛品 | 32 | 92 |
| 原材料及び貯蔵品 | 143 | 154 |
| その他 | 1,042 | 1,822 |
| 貸倒引当金 | △109 | △108 |
| 流動資産合計 | 96,390 | 89,471 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 74,460 | 74,701 |
| 減価償却累計額 | △53,668 | △54,519 |
| 建物及び構築物（純額） | 20,792 | 20,182 |
| 機械装置及び運搬具 | 38,824 | 39,126 |
| 減価償却累計額 | △30,233 | △30,882 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 8,591 | 8,243 |
| 土地 | 18,972 | 18,757 |
| その他 | 10,364 | 11,857 |
| 減価償却累計額 | △5,914 | △5,721 |
| その他（純額） | 4,450 | 6,135 |
| 有形固定資産合計 | 52,806 | 53,319 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,745 | 2,118 |
| 顧客関連資産 | 186 | 177 |
| その他 | 5,035 | 4,859 |
| 無形固定資産合計 | 6,967 | 7,155 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 15,516 | 16,282 |
| 退職給付に係る資産 | 3,564 | 3,836 |
| 差入保証金 | 30,780 | 24,776 |
| その他 | 1,739 | 1,713 |
| 貸倒引当金 | △654 | △646 |
| 投資その他の資産合計 | 50,945 | 45,962 |
| 固定資産合計 | 110,719 | 106,436 |
| 資産合計 | 207,110 | 195,907 |

(単位: 百万円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2025年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 51,392 | 41,800 |
| 短期借入金 | 300 | 300 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 432 | 275 |
| 1年内償還予定の社債 | 30 | — |
| 未払法人税等 | 2,487 | 1,852 |
| 賞与引当金 | 1,758 | 1,646 |
| 役員賞与引当金 | 81 | 52 |
| 完成工事補償引当金 | 0 | 0 |
| その他 | 15,210 | 14,716 |
| 流動負債合計 | 71,692 | 60,644 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,411 | 1,321 |
| 役員退職慰労引当金 | 188 | 169 |
| 特別修繕引当金 | 262 | 288 |
| 退職給付に係る負債 | 167 | 161 |
| 資産除去債務 | 873 | 875 |
| その他 | 12,490 | 12,514 |
| 固定負債合計 | 15,394 | 15,331 |
| 負債合計 | 87,086 | 75,976 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 10,127 | 10,127 |
| 資本剰余金 | 2,534 | 2,533 |
| 利益剰余金 | 103,985 | 103,812 |
| 自己株式 | △6,555 | △6,543 |
| 株主資本合計 | 110,092 | 109,930 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,514 | 4,858 |
| 土地再評価差額金 | △642 | △757 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △426 | △378 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,445 | 3,722 |
| 非支配株主持分 | 6,485 | 6,277 |
| 純資産合計 | 120,023 | 119,931 |
| 負債純資産合計 | 207,110 | 195,907 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) |
|---|--|--|
| 売上高 | | |
| 商品売上高 | 305,760 | 306,626 |
| 完成工事高 | 1,391 | 1,737 |
| 売上高合計 | 307,152 | 308,364 |
| 売上原価 | | |
| 商品売上原価 | 276,931 | 280,075 |
| 完成工事原価 | 1,224 | 1,507 |
| 売上原価合計 | 278,156 | 281,583 |
| 売上総利益 | 28,995 | 26,780 |
| 販売費及び一般管理費 | 23,463 | 22,996 |
| 営業利益 | 5,532 | 3,784 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 37 | 98 |
| 受取配当金 | 306 | 282 |
| 仕入割引 | 122 | 164 |
| 軽油引取税交付金 | 77 | 73 |
| 貸倒引当金戻入額 | 0 | 7 |
| その他 | 154 | 151 |
| 営業外収益合計 | 699 | 777 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 42 | 54 |
| 売上割引 | 88 | 115 |
| 支払手数料 | — | 48 |
| その他 | 45 | 34 |
| 営業外費用合計 | 176 | 252 |
| 経常利益 | 6,055 | 4,310 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4 | 5 |
| 投資有価証券売却益 | 1,434 | — |
| 特別利益合計 | 1,439 | 5 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 64 | 35 |
| 減損損失 | 24 | 35 |
| 投資有価証券評価損 | — | 9 |
| 特別損失合計 | 88 | 80 |
| 税金等調整前中間純利益 | 7,406 | 4,235 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,312 | 1,739 |
| 法人税等調整額 | 150 | △325 |
| 法人税等合計 | 2,462 | 1,414 |
| 中間純利益 | 4,944 | 2,821 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△) | 455 | △7 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 4,488 | 2,828 |

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) |
|----------------|--|--|
| 中間純利益 | 4,944 | 2,821 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,052 | 361 |
| 退職給付に係る調整額 | 57 | 48 |
| その他の包括利益合計 | △995 | 409 |
| 中間包括利益 | 3,948 | 3,230 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 3,512 | 3,220 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 435 | 10 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) |
|----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 7,406 | 4,235 |
| 減価償却費 | 2,739 | 2,671 |
| のれん償却額 | 225 | 245 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 141 | △9 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △132 | △111 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △42 | △29 |
| 退職給付に係る資産又は負債の増減額 | △11 | △205 |
| 受取利息及び受取配当金 | △467 | △545 |
| 支払利息 | 130 | 170 |
| 有形固定資産除売却損益 (△は益) | 59 | 26 |
| 減損損失 | 24 | 35 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △1,434 | — |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 9 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 8,451 | 7,139 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △1,555 | 1,217 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △781 | △702 |
| 営業保証金・破産債権の増減額 (△は増加) | △6,482 | 5,990 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △12,367 | △9,591 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | △3,431 | △587 |
| その他 | △120 | 16 |
| 小計 | △7,647 | 9,975 |
| 利息及び配当金の受取額 | 436 | 468 |
| 利息の支払額 | △142 | △172 |
| 法人税等の支払額 | △2,346 | △2,356 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △9,700 | 7,915 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | — | △6,191 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △607 | △50 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 2,186 | 50 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,547 | △2,715 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 7 | 211 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △731 | △647 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △234 | — |
| その他 | △39 | 55 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,966 | △9,287 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 20 | — |
| 長期借入れによる収入 | 700 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △754 | △246 |
| 社債の償還による支出 | — | △30 |
| 自己株式の取得による支出 | △2,000 | △0 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △208 | △213 |
| 配当金の支払額 | △3,215 | △3,116 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | — | △5 |
| その他 | △302 | △303 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △5,761 | △3,916 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △17,428 | △5,288 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 53,381 | 40,288 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 35,952 | 35,000 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項なし。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注) 1 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|------------------------|------------|-------------|------------|------------|-----------|---------|--------------|-------------------------------|
| | 石油関連 事業 | 化学品 関連事業 | ガス関連 事業 | 航空関連 事業 | その他 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 263,747 | 6,311 | 27,199 | 7,197 | 2,696 | 307,152 | — | 307,152 |
| セグメント間の内部 売上高または振替高 | 911 | 155 | 29 | — | 433 | 1,530 | △1,530 | — |
| 計 | 264,659 | 6,466 | 27,228 | 7,197 | 3,130 | 308,682 | △1,530 | 307,152 |
| セグメント利益 | 4,281 | 516 | 374 | 1,781 | 326 | 7,281 | △1,225 | 6,055 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,225百万円には、セグメント間取引消去9百万円および各報告セグメントに配分していない全社利益△1,235百万円が含まれている。全社利益は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益および営業外費用である。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注) 1 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|------------------------|------------|-------------|------------|------------|-----------|---------|--------------|-------------------------------|
| | 石油関連 事業 | 化学品 関連事業 | ガス関連 事業 | 航空関連 事業 | その他 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 264,397 | 6,254 | 26,088 | 8,438 | 3,184 | 308,364 | — | 308,364 |
| セグメント間の内部 売上高または振替高 | 789 | 162 | 24 | 0 | 1,506 | 2,484 | △2,484 | — |
| 計 | 265,187 | 6,417 | 26,112 | 8,439 | 4,691 | 310,848 | △2,484 | 308,364 |
| セグメント利益 | 859 | 599 | 737 | 2,912 | 388 | 5,499 | △1,188 | 4,310 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,188百万円には、セグメント間取引消去△11百万円および各報告セグメントに配分していない全社利益△1,177百万円が含まれている。全社利益は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益および営業外費用である。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし。